

ネットワーク検討にあたっての視点（案）

視点－1 広域サイクリングルートと地域資源を連携したネットワーク

県北地域におけるサイクリングルートを補完するとともに、久慈川や那珂川といった本市の基幹的なサイクリングエリアや、ポタリングによる周遊を創出するため地域資源を結ぶネットワークを検討します。

視点－2 市街地での日常生活を支えるネットワーク

菅谷地区では、生活利便施設が集約して立地し、南北、東西に都市計画道路が整備されている環境を生かし、コンパクトなまちで、健康増進のための利用や日常生活での移動において、自転車を使いやすくするためのネットワークを検討します。

視点－3 水郡線9駅との連携によるネットワーク

市内に9つの駅がある特性を生かし、日常生活や観光利用において、鉄道と自転車の連携を強化するためのネットワークを検討します。

視点－4 観光利用と生活利用を輻輳させるネットワーク

観光来訪者が市内の観光資源を巡る移動手段としての活用を目指す一方で、観光来訪者の利用が少ない時期における稼働率の確保や持続性ある利用環境の創出に向け、観光と暮らし、いずれの面でも利用できるネットワークを検討します。

視点－5 情報技術の活用によるネットワーク

ライドシェアへの対応、公共交通との連携等、情報技術によって可能となる新しい自転車の使い方に対応したネットワークを検討します。

